

東洋経済CSR調査・ CSR評価（ランキング）のご説明

2021年5月18日（火）

株式会社東洋経済新報社

『CSR企業総覧』編集長、財務・企業評価チーム

岸本吉浩

1. 東洋経済CSR調査の概要
2. CSRデータ利用刊行物・関連サービス
3. 回答企業との対話・外部との関わり
4. 東洋経済CSR調査回答に役立つ関連資料
5. 第15回東洋経済CSR評価・CSR企業ランキング
6. 『CSR企業白書』のご紹介
7. 公開情報からの調査・評価
8. 今年・今後の東洋経済CSR調査・評価

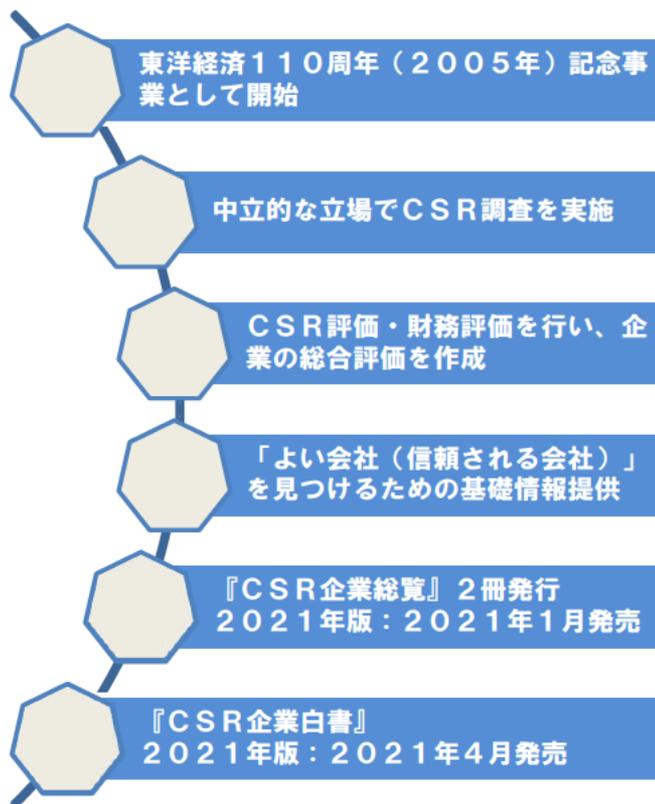
- 東洋経済CSR調査・評価の概要を知っていただく（基本的な考え方の共有）
- 説明資料等の存在を知っていただく
- 直接、ご質問いただける場を提供
- できるだけ多くの方とお会いする（双方向のコミュニケーション）

1. 東洋経済CSR調査の概要

CSR 東洋経済CSR調査は16回実施

TOYOKEIZAI

東洋経済CSR調査の特徴



東洋経済 For Research & Analysis



東洋経済 For Research & Analysis



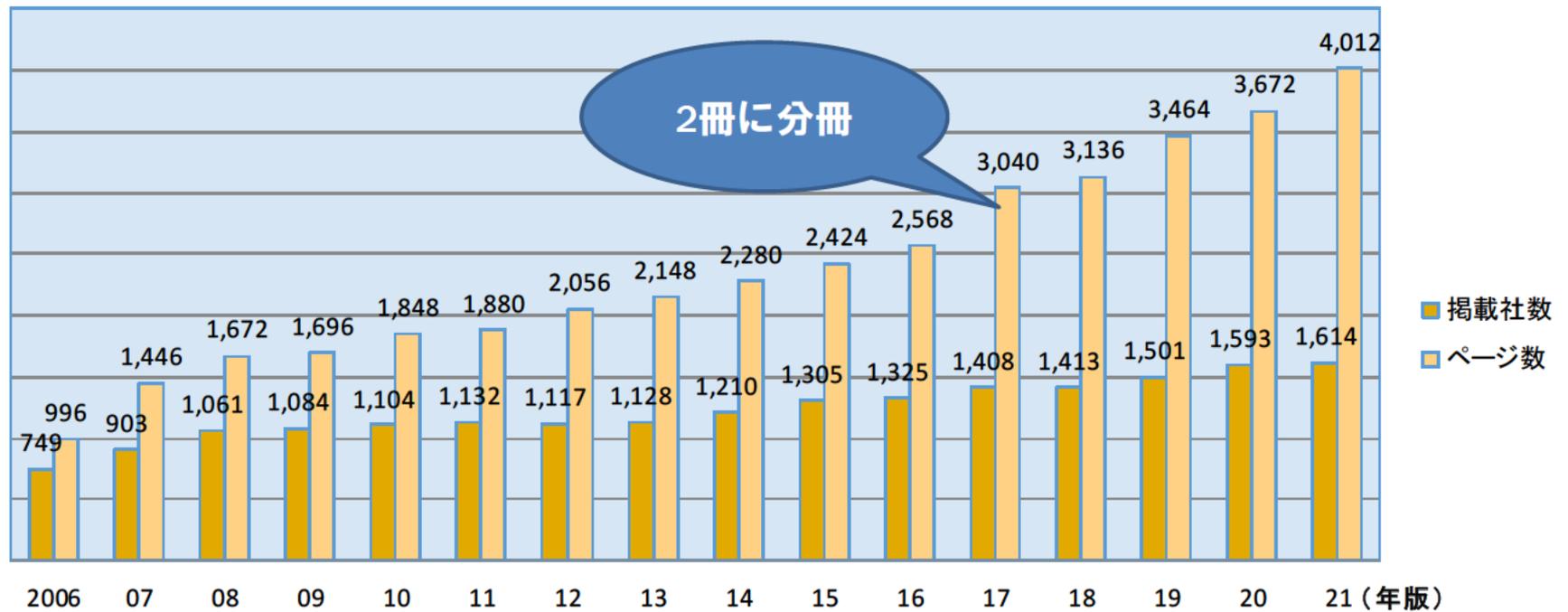
掲載情報	会社基本データ
	CSR & 財務評価・格付け
	CSR全般
	ガバナンス・法令順守・内部統制
	雇用・人材活用
	消費者・取引先対応
	社会貢献
	企業と政治の関わり
	環境
	法令順守

ランキング作成



集めたデータはすべて掲載

『CSR企業総覧』掲載社数とページ数



★ SDGsに貢献

信頼される会社へ



③社会課題の解決
(CSVなど)

『CSR企業総覧 (ESG編)』

② ESGの基本的取り組み
ESG (=環境・社会・ガバナンス)

2017年版から分冊



①人材活用・雇用問題 (H)
の取り組み

『CSR企業総覧
(雇用・人材活用編)』

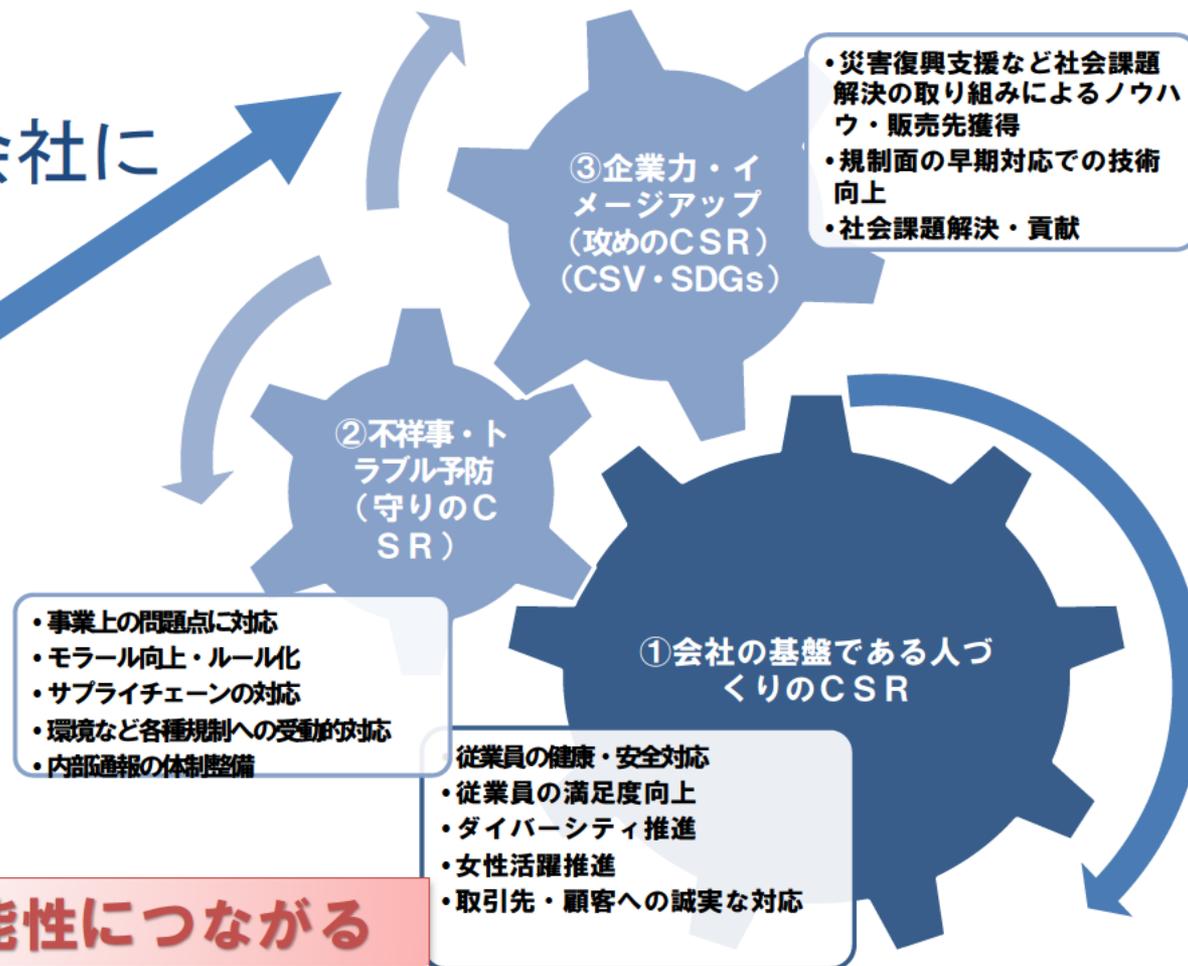


- ① 会社に関わるさまざまな人を大切にしているか？
- ② 事業活動で与える負荷を減らすよう努力しているか？
- ③ 社会課題解決に貢献しようとしているか？

「ESG-H」という枠組みが基本

CSR活動でより強い会社になっていく

より強い会社に



CSR活動の積み上げ

持続可能性につながる

この全体の動きがわかるような調査・評価を目指す

- 財務情報中心の企業評価の限界
- 非財務情報への注目度の高まり
- 非財務情報の中心としてのCSR関連データ
- 海外・国内で幅広く情報開示の対象に



企業を詳しく知るための情報として注目されている

これまでにない（ESG）情報を 知りたいというニーズが増えている

人材活用では

- 女性管理職人数
- 有給休暇取得率
- 離職者数
- メンタルヘルス休職者数
- 世代別従業員数
- 従業員の年間総労働時間
- 新卒3年後定着率

他ESG関連では

- 社会貢献活動支出額
- 政治献金・ロビー活動支出額
- 内部通報件数
- 相談役・顧問数
- 法令違反等
- 生物多様性関連の支出額
- CO₂排出量

こうしたニーズに対応した情報提供を目指す

皆様のご協力のもと、アンケートで情報収集を行ってきた

1. 雇用・人材活用編（A3・3枚）

2. CSR全般・社会貢献・内部統制等編（A3・4枚）

3. 環境編（A3・3枚）

※業種・規模に関わらず共通の調査票

1. 基本的に前年の調査票を踏襲
2. 調査票の自由記入欄からヒント
勤務間インターバル制度など
3. 海外や国内の動きから注目データを選定
プラスチック削減の取り組みなど

① 調査票編集

8名のチームメンバーで編集作業

② 編集部チェック

4名の編集部メンバーで確認

③ 入力・校正作業

14名のチームメンバーで入力・校正

④ ゲラ確認

7名の校正士が全体を2回読む

⑤ データチェック

論理的におかしい点や校正ソフトもかける

⑥ 編集部最終読み

編集部で最終読みを行い校了

ご回答いただいた情報は丁寧にデータ化

2. 東洋経済のCSRデータ 利用刊行物・関連サービス

- 『CSR企業総覧（雇用・人材活用編）（ESG編）』
- 『CSR企業白書』
- デジタルコンテンツ・ライブラリー（DCL）
（『CSR企業総覧』オンラインサービス）
- 東洋経済ESGオンライン
- データベース（CSRデータ・CSR評価データ）



CSR調査データ
CSR評価データ
ランキング



	内容
解説記事 (約100ページ)	各分野の専門家によるCSR・ESG情報の解説ページ。 (重要テーマ30、ESG投資、環境活動、SDGsなど)
総合ランキング	CSR企業ランキング、ESG企業ランキング、女性が働きやすい会社ランキング、他
個別ランキング	勤続年数、新卒3年後定着率、外国人管理職数、政治献金・ロビー活動等支出額、温室効果ガス排出量(対利益も)、生物多様性保全など77
業種別集計編	制度・方針・体制等：活動のマテリアリティ設定、CSR担当部署、CSR担当役員など127 数値項目：内部通報、勤続年数、障害者雇用率など114

- 発売日：2021年4月12日発売
- ページ数：758ページ(ランキング・集計編は645ページ)

■Webでの検索閲覧サービス (DCL: デジタルコンテンツ・ライブラリー特別版)

1. 『CSR企業総覧』 最新号
(雇用・人材活用編) (ESG編) (統合版)
各社ごとのページが閲覧可能

2. 過去の週刊東洋経済「CSR企業ランキング」記事

●『CSR企業総覧』



●CSR企業ランキング 掲載ページ

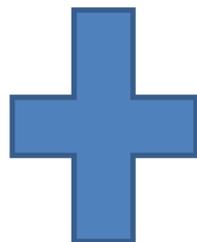


●仕様

- ・ 同時アクセス1
- ・ 検索システム+印刷可

●料金

- ・ 年額120,000円(税抜き)



検索・閲覧可能

利用先	主な利用内容
<p>大学の研究者や授業、ゼミ、就職活動などのアカデミック分野 (全体の70%以上。海外の大学も)</p>	<ul style="list-style-type: none"> • データベースから必要な項目だけ使用 • CSRデータを基に独自に評価を作成 • 評価データをCSRの達成度として利用 • これまでは雇用・人材活用編の利用が中心 • 社会貢献等の情報へのニーズが拡大中 • 大学の授業でデータ分析の教材で使う • ESG・SDGs・CSVなどの研究 • 財務データと人材活用と生産性への影響の分析 • 副業制度の状況と企業パフォーマンスの分析 • 従業員世代分布や希望者の65歳までの雇用についての分析

利用先	主な利用内容
運用会社・シンクタンクなど	<ul style="list-style-type: none"> • 研究に利用（女性の雇用等） • 基礎データとして利用することが多い • 自らの調査データと組み合わせるなど • 設備・人材投資ETFの基礎情報として利用 • 新しいキャリア形成の研究やファンド開発
その他	<ul style="list-style-type: none"> • 就活向けのサービス • 就職活動向けの情報として利用。 • 他

3. 回答企業との対話・外部との関わり

名称	内容
① CSR 調査・ 評価説明会	<p>2012年開始。今年で10回目。調査についての基本的な内容の説明。作成した資料等の紹介。今年も昨年と同様オンラインでの開催。</p>
② 個別質問会	<p>2016年5月開始。基本的に毎月1回弊社会議室で開催。基本は月1日だが申し込みが多い場合はできるだけ複数日程を設定。2020年4月から2021年3月までの1年間で合計45社とお会いした。</p> <p>事前にご質問をいただき、個別にお会いしご説明（昨年からはオンライン）。</p> <p>ライバル企業との差や自社の得点についてのご質問が多い。 ただし、説明会資料内容をご存知でない方が増えてきたため、まず、この説明会にご出席いただきたい。</p>

- 回答企業への情報提供やさまざまなコミュニケーションを行うための組織
- 2018年2月開始
- 回答企業をメンバーとしている
- 今後、ニーズのあるサービスを有料も含めて検討していく（コロナ等で遅れ気味）

- **URL**
<http://www.toyokeizai.net/csr/sustainabilityforum/>



東洋経済
サステナビリティ

サービス名	主な内容
CSR File ダウンロードシステム	<ul style="list-style-type: none"> • 過去11年分の『CSR企業総覧』掲載ページ • 過去6年分のCSR企業ランキング報告書 • PDF調査票直近年度分（調査用） • CSR企業ランキング上位800社（2017年～2020年） • 格付け一覧 • 業種別集計表 • ID追加やPW変更なども可能 • 各種レポート
CSR調査・評価説明会 個別質問会	<ul style="list-style-type: none"> • 年1回開催の説明会 • 個別にご質問いただける毎月開催の個別質問会 20年4月～21年3月：45社
東洋経済CSRセミナー	<ul style="list-style-type: none"> • 優先参加可能（一部有料）

1. 他社の情報を見たい・知りたい
2. CSR評価の評価項目得点＋平均値データ
・レポート（自社のみ）
3. 他社（ライバル企業）との比較
4. 平均値との乖離等を知りたい
5. 過去データなどを使って分析したい
6. アドバイスを聞きたい ⇒こちらは難しい

- CSR企業総覧オンラインサービス
- CSR評価の評価項目得点＋平均値データ・レポート（自社のみ）
- CSR企業白書の集計・ランキングデータ
- 各社の分析用のデータ提供
- サステナビリティ分野の理解を進めるための関連セミナー・勉強会
- 他

昨年から進展なしです。

他、東洋経済の外部との関わり

協力・参加	主な内容
環境コミュニケーション大賞	第19回（2014年）から後援
グリーン購入大賞	第18回（2017年）から後援
環境省・環境情報開示基盤整備事業	1回目（2013年）から情報の利用者側として参加
プラチナキャリア・アワード	第2回目までは東洋経済主催に近かった。 第3回目からはデータ提供・協力に
その他個別でご協力・情報交換	<ul style="list-style-type: none"> ・ 可能な範囲での公式・非公式での意見交換会の実施 ・ 大学の寄付講座 ・ 依頼があればセミナー講師なども



外部との関わりで独りよがりにならない調査に

4. 東洋経済CSR調査回答に 役立つ関連資料

CSR 第16回CSR調査のページ

TOYOKEIZAI

[English](#)

■「CSR企業白書」2021年版

■東洋経済CSR調査

- [第16回CSR調査](#) (2020年調査) [第15回CSR調査](#) (2019年調査)
- [第14回CSR調査](#) (2018年調査) [第13回CSR調査](#) (2017年調査)
- [第12回CSR調査](#) (2016年調査) [第11回CSR調査](#) (2015年調査)
- [第10回CSR調査](#) (2014年調査) [第9回CSR調査](#) (2013年調査)
- [第8回CSR調査](#) (2012年調査) [第7回CSR調査](#) (2011年調査)

■CSR企業ランキング

- 2021年版(第15回) [データ: 2020年調査] [週刊東洋経済3月6日号](#) [Web](#)
- [2020年版\(第14回\)](#) [データ: 2019年調査] [週刊東洋経済2月22日号](#) [Web](#)
- [2019年版\(第13回\)](#) [データ: 2018年調査] [週刊東洋経済2月16日号](#) [Web](#)
- [2018年版\(第12回\)](#) [データ: 2017年調査] [週刊東洋経済2月17日号](#) [Web](#)
- [2017年版\(第11回\)](#) [データ: 2016年調査] [週刊東洋経済3月4日号](#) [Web](#)
- [2016年版\(第10回\)](#) [データ: 2015年調査] [週刊東洋経済3月5日号](#)
- [2015年版\(第9回\)](#) [データ: 2014年調査] [週刊東洋経済3月14日号](#)
- [2014年版\(第8回\)](#) [データ: 2013年調査] [週刊東洋経済4月5日号](#)

調査終了後は関連資料のリンクをご用意

2020年7月30日公開
2021年5月12日最終更新

[トップへ戻る](#)

■ CSR企業総覧 2021年版

- 社名簿51(雇用・人材活用編 ESG編)
 - 調査の説明・データの見方(総合版、雇用・人材活用編 ESG編)
 - CSR企業ランキング(評価項目一覧・ポイント、各企業個別集計表 報告書見本)
 - 財務格付1コーポレート CSR格付1コーポレート抜粋版(PDF)
- 各社のCSR格付は「CSR企業総覧」等をご覧ください。
※全社版のご提供(有償)は [データベースサービス窓口](#) にお問い合わせください。
- CSR企業総覧2021年版サンプルページ(CSR企業ランキング上位企業)
 - 1位 [9433 KDDI\(PDF\)](#)
 - 2位 [9432 日本電信電話\(PDF\)](#)
 - 3位 [4901 富士フイルムホールディングス\(PDF\)](#)

■ CSRデータ開発チームからのお知らせ

第16回CSR調査は終了しました。ご協力ありがとうございました。

■ 第16回CSR調査のお知らせ

東洋経済 第16回CSR調査の関連ファイルをご用意しています(上場企業、昨年ご回答未上場企業には別途調査票等をお送りしています)。調査全体の説明資料は下記をご覧ください。

調査項目等で追加でご説明が必要な点をまとめているので、まず、下記のご回答の手引き、調査に関するQ&Aをご覧ください。新規追加項目の一覧も掲載していますのでご参考になさってください。

回答締切: **8月31日(月)** ※フォーム付きPDF調査票も同じです

ご回答の際には下記の資料をご覧ください。

- [ご回答の手引き](#)
- [記入例](#)
- [調査のお願い\(依頼状、郵送したものと同じ\)](#)
- [前回ご回答いただいた企業用のPDF調査票について](#)
- [初回ご回答用PDF調査票\(総合調査\)](#)
- [初回ご回答用PDF調査票\(業績調査\)](#)
- [調査に関するQ&A](#)
- [依頼状](#)

CSR 本説明会の資料もご覧ください

TOYOKEIZAI

■CSR企業総覧2021年版

- 概要(雇用・人材活用編 ESG編)
- 社名索引(雇用・人材活用編 ESG編)
- 調査の説明・データの見方(雇用・人材活用編 ESG編)
- [CSR評価項目一覧\(PDF\)](#) [ランキング得点業種別集計表\(PDF\)](#)
- [財務格付け一覧\(PDF\)](#) [CSR格付け一覧:抜粋版\(PDF\)](#)
- 東洋経済「第16回 CSR調査」業種別集計結果2021年版:抜粋版(PDF)

各社のCSR格付け、業種別集計結果(完全版)は[東洋経済サステナビリティフォーラム](#)(CSR Fileダウンロードシステム:会員のみ利用可能)、『CSR企業総覧』『CSR企業白書』等をご覧ください。

※データでのご提供(有償)は[データベースサービス窓口](#)にお問い合わせください

※『[CSR企業総覧オンラインサービス](#)』という『CSR企業総覧』の各社のページを閲覧できるサービスも行っています。トライアル利用のご相談も受け付けています

■CSR企業白書2021年版

- [CSR企業白書HP](#) [目次](#) [申込用紙](#)
 - [ランキング索引](#)(総合ランキング・格付け 個別ランキング)
 - [集計表索引](#)(集計表(制度・方針・体制等) 集計表(数値項目))
 - 発行記念セミナー(17年7月31日・8月30日開催) [東洋経済発表資料](#)
- ※データでのご提供(有償)は[データベースサービス窓口](#)にお問い合わせください

■プラチナキャリア・アワード

- [第3回プラチナキャリア・アワード](#)の応募受付は終了しました

■東洋経済サステナビリティフォーラム

- [東洋経済CSR調査・評価](#) 個別ご説明について(6月25日の申し込み受付中)
- [2021年説明会\(5月14日、18日に開催予定です\)](#)
過去の説明会資料等は[こちら](#)をご覧ください。
- [東洋経済CSRセミナー](#)(次回:未定です)
東洋経済サステナビリティフォーラムの公開セミナーとして開催しています。

こちらもご覧ください

- 発表資料
- 主な質問・回答
- CSRデータ各種集計表
- CSR企業ランキング得点業種別集計表
- CSR企業ランキング報告書見本
- CSR企業ランキング評価項目一覧・ポイント
⇒ 昨年から平均点も掲載

5. 第15回 東洋経済CSR評価・CSR企業ランキング

「信頼される会社」
をCSRデータを使
って見つける

- 株式投資・就職先として勧められる会社
- 「信頼される会社」像を考える

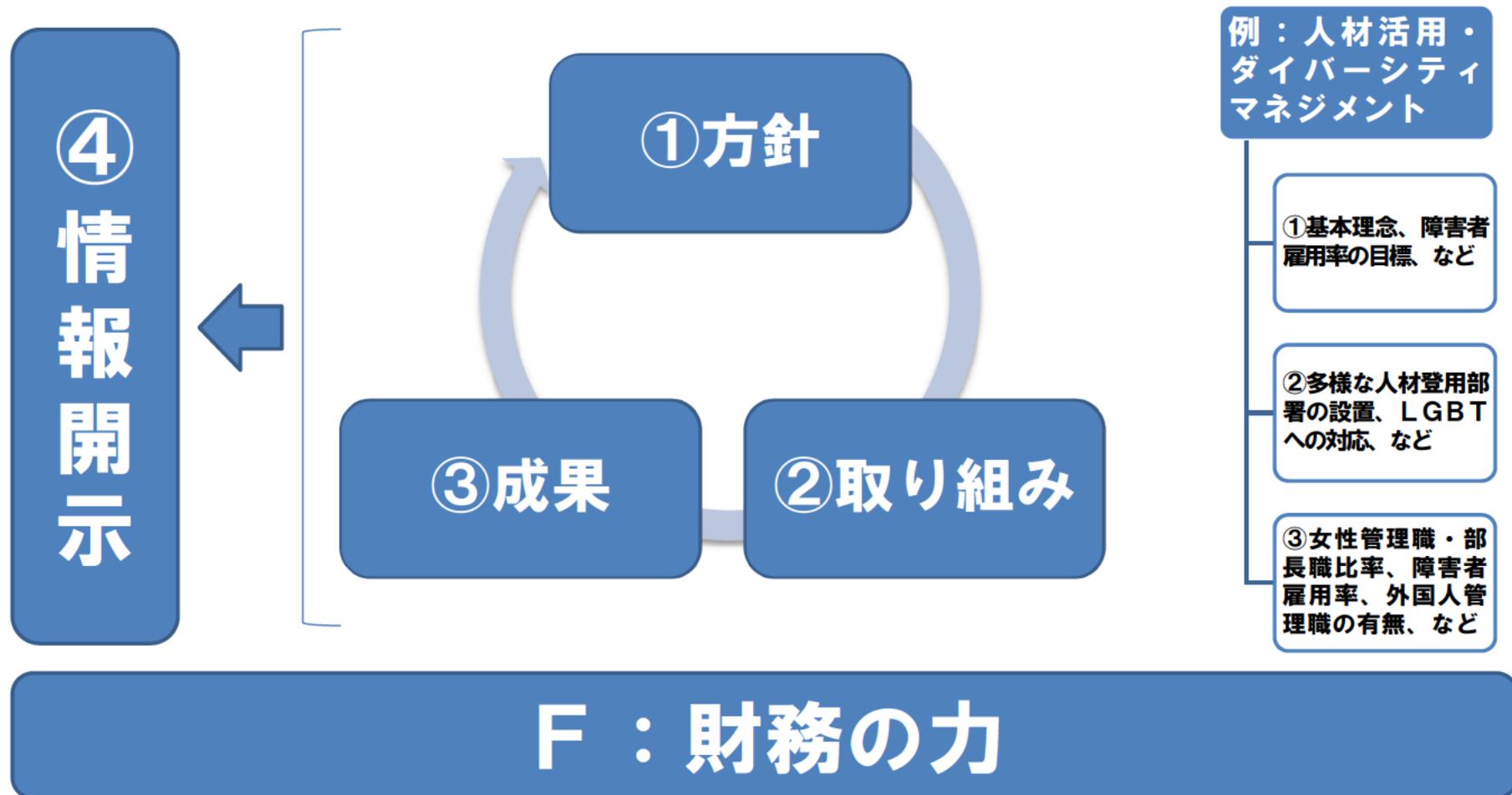
定量評価による企業
評価の仕組み作り

- 数値情報など定量評価での企業評価
- 財務評価とあわせた総合評価

各社のCSR活動
を見る際の参考情
報に

- 各企業の取り組みの参考指標のひとつに
- CSR情報を見る際の参考情報（「ものさし」のひとつ）に

①から④までと財務の力が両立した会社



CSR
(300点)

① + ② + ③ + ④

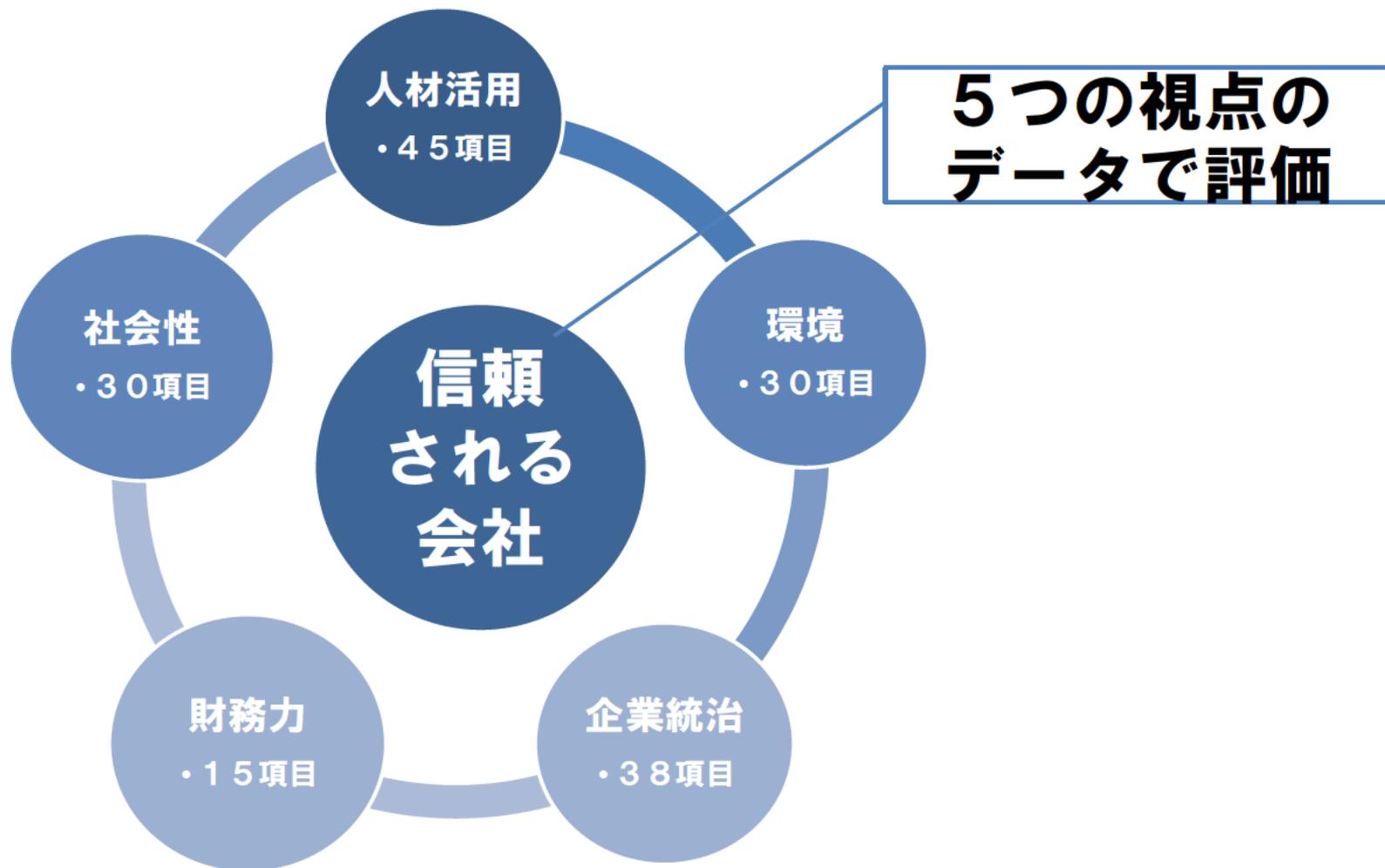
- 人材活用
- 環境
- 企業統治 + 社会性



財務
(300点)

F

- 収益性
- 安全性
- 規模



順位	前年	社名	総合 (600)	人材活用 (100)	環境 (100)	企業統治 +社会性 (100)	財務 (300)
1	1	KDDI	575.7	96.0	94.9	99.4	285.4
2	3	日本電信電話	572.0	93.9	96.2	98.3	283.6
3	5	富士フイルムHD	571.2	94.9	97.4	98.9	280.0
4	7	JT	569.4	96.0	92.3	97.7	283.4
5	4	花王	568.7	96.0	94.9	96.0	281.8
6	2	NTTドコモ	567.2	91.9	89.7	100.0	285.6
7	53	サントリーHD	565.9	94.9	98.7	96.6	275.7
8	13	大和ハウス工業	565.6	88.9	97.4	97.7	281.6
9	17	トヨタ自動車	563.1	93.9	98.7	97.2	273.3
10	12	キリンHD	562.6	94.9	96.2	96.0	275.5

- 全業種を同じ土俵で見えていく
- 幅広い分野を対応
- 基本的な取り組みを重視
- 数値で把握できる項目を積極的に取り入れる

上位はどのような会社か？

多くの人々が「優良」と認める会社

- 業績が安定している
- CSRの主要テーマを網羅している・意識している
- 指標等の数値上昇に努力している
- 幅広くCSR情報を開示している

幅広く活動・開示できない会社の評価は低い

- 幅広く活動・開示できない非製造業・中堅は得点が低い傾向
- 環境分野の活動・開示レベルがランキングに影響
(開示可能な情報も多い)



39 業種内順位や得点の成長率など別の見方もある

- 各評価項目の最大得点は2～3点を中心
- 伸び率は使っていない。現在の実力を評価する
- 数値項目は「率」と記載していれば、「率」で評価。「人数」などと記載していれば、その「実数」で評価
- 重要な項目は率と実数（人数等）の両面で評価
育児休業取得者＋育児休業取得率など。
- 数値項目は全社の平均値などを参考に得点ルールの見直しを定期的に実施
障害者雇用率、女性管理職比率など。
- 文章項目は基本的に該当する内容が書いてあれば得点

⇒ 「評価項目一覧」にポイント・得点を記載

CSR 評価の具体例 1 (人材活用)

TOYOKEIZAI

評価項目	評価内容
女性管理職比率	<ul style="list-style-type: none"> • 10%以上：3点（上位27%） • 7%以上：2点（上位36%） • 3%以上：1点（上位64%）
新卒入社者の定着度 （3年後定着率）	<ul style="list-style-type: none"> • 95%以上：4点 • 85%以上：3点 • 75%以上：2点 • 開示有：1点
勤務形態の柔軟化に関する諸制度	<ul style="list-style-type: none"> • 1つの制度：1点 • ただし、合計点は最大5点
従業員のインセンティブを高めるための諸制度	<ul style="list-style-type: none"> • 1つの制度：1点 • ただし、合計点は最大5点

CSR 評価の具体例 2 (CSR全般・環境)

TOYOKEIZAI

評価項目	評価内容
環境法令違反の有無	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2年連続ゼロ：3点 ・ 2年回答があり、いずれかゼロ：2点 ・ 回答あり：1点
内部通報・告発件数の開示	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2年連続数値回答あり：3点 ・ 1年のみ数値回答あり：2点 ・ その他での回答：1点
海外での価格カルテルによる摘発	<ul style="list-style-type: none"> ・ 直近2年間ゼロ：3点 ・ 2年回答があり、いずれかゼロ：2点 ・ 回答あり：1点
地域社会参加活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ 何らかの活動実施（回答あり）：3点
東日本大震災復興支援	<ul style="list-style-type: none"> ・ 行っている：3点 ・ 昔行っていた：1点 東日本大震災以外でさらに加点。 ・ 最大：4点

2021年CSR評価

基礎得点満点、最高得点・企業

各評価項目の得点を合計し基礎得点を算出	満点(項目数)	最高得点 達成率(前年)	社名	
	人材活用	107点(45項目)	99点 92.5%(92.5%)	ANA HD
	環境	80点(30項目)	78点 97.5%(98.7%)	イオン、資生堂、J. フロントリ テイリング、熊谷組
	企業統治	96点(38項目)	96点 100%(100%)	KDDI、花王、NTTドコモ、ク ボタ、リコー、日本精工、JS R、日本ゼオン、三機工業、 SOMPO HD
	社会性	83点(30項目)	81点 97.6%(98.8%)	富士フイルムビジネスイノ ベーション、オムロン、ブリチ ストン、ソニーG、Z HD
	企業統治+社会性	179点(68項目)	176点 98.3%(98.9%)	NTTドコモ、オムロン

ランキングはトップの基礎得点が基準

- 格付けは基礎得点の段階で作成
- ランキングはトップの基礎得点を基準（100点になる）
- 基礎得点の最高点は毎年変化
- トップの基礎得点が上昇すると昨年と同じでは評価は下がる



★2020年	基礎得点	得点
A社（1位）	80	➡ 100
B社（■位）	50	➡ 62.5

倍率（1位のA社が基準）

$$100 \div 80 = 1.25 \text{ 倍}$$

$$\text{B社得点} = 50 \times 1.25 \text{ (62.5点)}$$

★2021年	基礎得点	得点
A社（1位）	90	➡ 100
B社（■位）	50	➡ 55.6

倍率（1位のA社が基準）

$$100 \div 90 = 1.1111 \text{ 倍}$$

$$\text{B社得点} = 50 \times 1.1111 \text{ (55.6点)}$$

最近10年のランキング平均点

上位200社	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
総合ポイント	481.5	484.0	500.9	516.9	513.7	523.1	520.4	524.6	527.2	531.8
人材活用	73.1	76.0	81.0	83.6	83.3	84.1	84.8	86.6	86.3	87.3
環境	83.6	83.2	87.1	86.4	86.4	88.9	89.4	90.2	89.7	89.1
企業統治+社会性	83.3	85.4	88.9	88.9	88.9	90.0	90.9	91.8	92.2	93.1
財務	241.5	239.4	243.9	258.0	255.2	260.1	255.3	256.1	259.0	262.4
上位700社	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
総合ポイント	404.0	403.6	421.1	439.9	440.3	442.2	440.4	449.6	458.4	469.7
人材活用	52.5	55.4	59.6	63.4	64.3	66.8	68.3	71.4	72.5	75.1
環境	60.4	59.7	63.8	64.2	65.4	68.6	70.5	73.1	73.2	73.4
企業統治+社会性	62.2	63.3	67.1	69.1	70.9	73.1	75.1	77.4	79.0	81.0
財務	228.9	225.2	230.5	243.2	239.8	233.7	226.4	227.8	233.6	240.3
全社	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
対象社数	1,010 ※一定レベル以下も対象	1,116 ※一定レベル以下も対象	1,059	1,086	1,110	1,136	1,165	1,221	1,284	1,348
人材活用	44.1	47.4	51.8	53.6	53.4	55.2	55.4	56.6	56.0	57.0
環境	48.7	47.9	52.6	51.9	51.8	53.9	54.4	54.9	54.0	53.0
企業統治+社会性	53.5	54.2	58.2	58.9	59.2	60.5	61.3	61.7	61.5	62.0

- 年々平均得点は上昇
- 全体的にレベルが上がっている
- 上位700社も全社も上昇

- 基礎調査程度の内容で基本となるCSR評価を行うことが目的
- 少ない情報で基本的なCSR評価を作成
名称：CSR基本評価
- 基礎調査の項目は総合調査にすべて含まれる
- 今回も16項目で実施（評価は同じ方法）
- 今のところ人材活用の項目が中心
- 将来的には役員情報、大株主情報、四季報情報などを組み合わせて評価を行いたい
- 1位は資生堂

参考：CSR企業ランキング報告書見本

- 総合順位は76位
- 輸送用機器に属してランキングは56社中13位
- 総合ランキングは財務得点有り（1,487社）とCSR得点が一定以上（1,348社）が対象
- 所属業種、全社のCSR関連、財務関連の各部門の合計得点はそれぞれ社数が異なる

CSR企業ランキング 『週刊東洋経済』掲載号

第1回	2007年5月19日号
第2回	2008年5月17日号
第3回	2009年5月16日号
第4回	2010年5月15日号
第5回	2011年2月26日号
第6回	2012年3月17日号
第7回	2013年3月30日号
第8回	2014年4月 5日号
第9回	2015年3月14日号
第10回	2016年3月 5日号
第11回	2017年3月 4日号
第12回	2018年2月17日号
第13回	2019年2月16日号
第14回	2020年2月22日号
第15回	2021年3月 6日号



傾向

- 調査票ごとに開示のバラつきがある（担当者の差？）
- 回答できないと決めつけている
- 回答の手引きなどをあまり読んでいない

よくある 未回答項目

- ダイバーシティ推進の基本理念
- 内部通報件数
- 障害者雇用率の目標値
- 育児休業取得率
- 各種表彰歴
- BCM・BCP等

レベルアップ

■きっかけ

- ・新しく担当になった
- ・幹部から指摘

① 目標設定・方針設定

- ・基本方針の見直し
- ・いくつかKPI（重要業績評価指標）を設定
- ・その中のひとつがCSR企業ランキング

② 情報収集

- ・自社の情報を収集
- ・他社の情報を収集
- 『CSR企業総覧』『CSR企業白書』を使用

③ 開示・取り組み

- ・取り組みを広げる
- ・その内容を開示する
- ・さらに問題点がわかる
- ・強みもわかってくる

④ ランキング上昇

- ・200位くらいには上がることが多い



CSR企業ランキングの上昇企業で多いパターン

自社の課題発見に役立つ ランキング活用法

『CSR企業総
覧』を活用

『CSR企業白
書』を活用

担当者中心に
決めていく！

ランキング
上昇も！

① トップク
ラス企業の
情報を見る

② 全体・業
種の平均値
や状況を見
る、業種の
上位も見る

③ 自社が弱
い点を把握。
取り組むべ
き内容を決定

④ 実行
(方針・取
り組み・成
果)

⑤ CSRの
レベルアッ
プ



- 調査票にご回答いただく中で課題が見えてくることが多い
- まずは従業員とそれに関連する取り組みをじっくり行う
- 社会課題解決は足元を固めてから
- インパクトは小さくてもそうした企業が増えることで社会全体で大きなインパクトになる
- 中堅上場企業にがんばっていただきたい

6. CSR企業白書のご紹介



掲載内容

1. 巻頭特集
2. 総合ランキング
3. 個別ランキング
4. 制度等・集計表
5. 数値・集計表



CSR担当者・研究者向け

- 多くの視点から企業を知りたい人
- 大学関係（ゼミ・大学院生・教授等）
- その分野の研究者
- 企業の担当者

- ESG企業ランキング
- 女性が働きやすい会社ランキング
- プラチナキャリアランキング
- 財務力ランキング
- 中堅CSR企業ランキング
- 中堅ESG企業ランキング

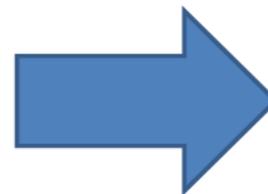


多くの企業を掲載

「よい会社」 選びに必要な多くの 情報を掲載

- 大卒30歳平均賃金
- 月平均残業時間
- 有給休暇取得率
- 産休期間（法定：産前6週間、産後8週間）
- 育児休業取得者数・比率
- 女性管理職・部長の人数・比率
- メンタルヘルス休職者数
- 内部通報件数
- 世代別従業員数
- 離職者数
- LGBT方針・取り組み
- 社会貢献支出額
- 相談役・顧問
- 内部通報件数の推移
- 不祥事に関する刑事告発など
- 生物多様性関連の支出額
- CO₂排出量

すべて掲載



御社はどのくらい対応していますか？

制度・取り組み等	社数（比率）
在宅勤務	766社（64.8%）
勤務間インターバル	272社（24.4%）
副業兼業許可	341社（30.6%）
サテライトオフィス	390社（33.2%）
再雇用制度（あり）	591社（50.6%）
LGBTへの対応の基本方針	419社（36.6%）
人権デューデリジェンスの取り組み	607社（56.2%）
東日本大震災復興支援の取り組み	479社（41.8%）
NPO・NGOとの連携	768社（48.5%）
内部通報件数回答企業	610社（37.8%）
納税倫理規定（あり）	402社（41.1%）
スコープ3（集計）	440社（44.8%）
プラスチック削減の取り組み	473社（56.4%）
気候変動に関するシナリオ分析（行っている）	248社（27.6%）

この会社は先進企業でしょうか？

項目	数値
障害者雇用率	2.3%
女性管理職比率	8.0%
新卒3年後定着率	90.0%
ボランティア休暇利用者	年間20人
男性育児休業取得率	50%
社会貢献支出額	年間5,000万円

順位と平均値・『CSR企業白書』より

項目	数値
障害者雇用率	400位 平均2.05% (1,228社)
女性管理職比率	360位 平均8.1% (1,377社)
新卒3年後定着率	382位 平均80.6% (1,272社)
ボランティア休暇利用者	80位 平均96.0人 (394社)
男性育児休業取得率	86位 平均28.9% (393社)
社会貢献支出額	316位 平均3.2億円 (744社)

7. 公開情報からの調査・評価

①義務化

- コーポレート・ガバナンス報告書
- 女性活躍推進法

②社会の要請

- CSR報告書
- 環境報告書
- 統合報告書
- 環境情報開示基盤整備事業
- 各種表彰制度

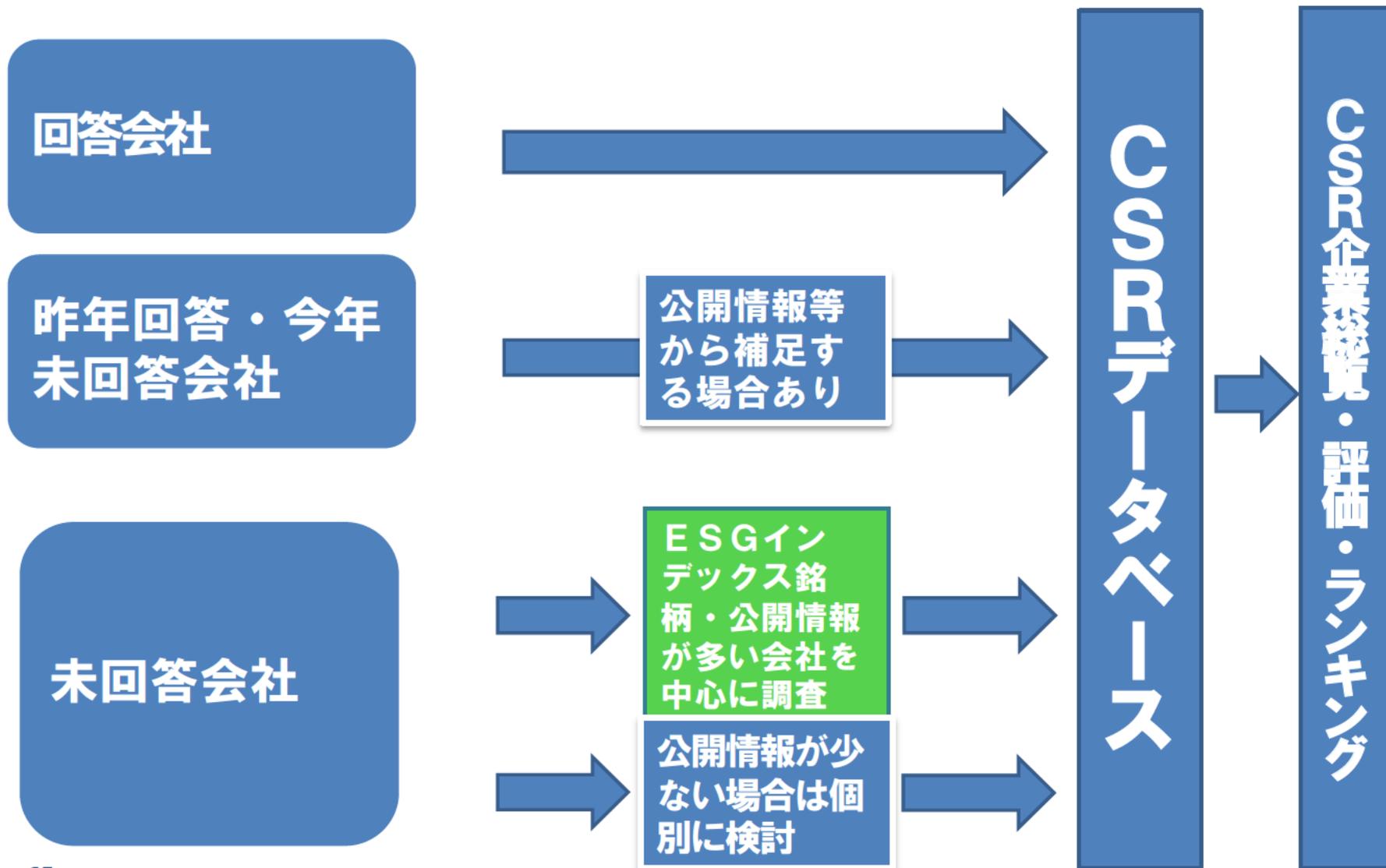
③アンケート

- 『役員四季報』
- 「大株主調査」
- 『就職四季報』
- 「CSR調査」

まだ十分ではないが少しずつ増えている

こちらも必要

現在はアンケート分を含めて企業を評価できるレベルになると考える



■問題意識

- 開示情報からESGデータ収集という流れが広まりつつある（と言われる）
- 官公庁などは企業の開示情報を増やそうとしている
- 東洋経済も公開情報から集めていく体制整備が必要という認識は持つ
- 通常の調査票・DBの枠組みに入れたい
- 回答・未回答企業あわせて評価を行えるようにする
- ランキングの対象にもする
- ただし、非常に手間がかかるため2020年の対象企業は11社

■2020年調査の結果

- CSRに積極的とされている未回答企業、ESGインデックス企業から11社を調査。
- CSR報告書、女性の活躍推進企業データベースなどからデータを取得⇒PDF調査票に入れていった。
- 取得できる項目は多くなかった
- 特に数値項目が少なかった
- 評価はあまり高くなかった

課題

- 開示情報は多くない
- 特に数値情報が十分ではない
- 人に関するデータがあまりない

基準がバラバラ

評価手法・見方が確立されていない

公開情報は十分ではないため依然多くの機関が似たような調査票を送っている

多くの機関が一緒に考えていく時期になった？

- 調査内容の標準化
- 共通項目の共同利用
- アカデミックを中心とした情報の見方の検討

国中心に開示基準を決めていくのがよいのかもしれない

8. 今年・今後の 東洋経済CSR調査・評価

- 昨年の従業員の働き方・企業のあり方
特別調査に関連する内容
- 今年は順次CSR評価に組み込む予定
- ご回答の手引きに記載予定

- 紙・PDF調査票以外は一時ストップ
- サステナビリティフォーラムの追加活動については本格的に検討
- 調査票は雇用・人材活用は4枚になる予定
- CSR全般・社会貢献・内部統制等編は項目の削減等で4枚を維持
- 特別調査は行わない

- W e b 等での回答に向けて検討
- サステナビリティフォーラムの追加活動について
- S D G s など社会課題解決について全体的に整合性をとれるような項目を目指す

2021年調査のスケジュール

年月	内容
2021年6月	新ランキングを公表予定 新調査項目を決定。調査票の作成開始 調査票発送（6月28日発送予定）
7月	PDF調査票作成・セット（CSR Fileダウンロードシステム）
8月	締め切り（8月23日）。編集開始
9～10月	編集・入力・校正等の作業
11月	『CSR企業総覧（雇用・人材活用編）（ESG編）』2022年版発売
12月	集計編送付
2022年2月	各種ランキング発表開始 （予定）CSR企業ランキングの発表（『週刊東洋経済』） （予定）CSR企業ランキング報告書ダウンロード開始
4月	『CSR企業白書』2022年版発売
4～5月	説明会（東京・大阪）：リアルで開催できるか？

今年もよろしくお願いいたします。